

2020 年度 FD 活動報告書

◆教育学部◆

今年度は、春学期・秋学期に各 1 回、計 2 回の学部 FD 研究会を実施した。新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、2 回ともオンライン（Zoom）での実施となった。第 1 回学部 FD 研究会は大学院との合同開催とし、「オンライン授業についての学び合い」をテーマとした（8 月 4 日（火）13:30～15:00）。3 名の教員からの報告の後、ブレイクアウトセッションを利用したグループディスカッションを行い、最後に討論内容を全体で共有した。急遽オンライン授業の全面実施となった春学期の経験をふまえ、各教員の工夫や苦勞、オンライン授業の成果と課題などが話し合われた。第 2 回学部 FD 研究会では「教育学研究演習（ゼミ）のあり方を考える」をテーマとした（2021 年 2 月 17 日（水）13:30～14:30）。各教員（ゼミ）の取り組みや抱えている課題などが報告され、教育学部におけるゼミの今後のあり方や改善点について議論した。

今年度はコロナ禍の下、社会情勢に合わせた試行錯誤や新たな工夫がみられ、また教育のあり方や意義について見つめ直す 1 年であったように思われる。これを一過性のものとせず、今後のさらなる教育改善につなげていく必要がある。

◆教職教育研究センター◆

本年度は 2 回の FD 研修会を行った。第 1 回は 7 月 14 日に「本年度の教育実習の課題と今後の改善と充実」というテーマで、教育実習の課題について情報共有と意見交換を行った。特に、コロナ禍における事前事後指導の実施方法と評価方法、実習期間中の学生の安全管理やサポートおよび実習校との連絡・協力関係などが話題となった。第 2 回は 12 月 22 日に「本学教職課程の現状」というテーマで、教員免許等の資格取得者数・教職就職者数・教育実習生数・実習校数・介護等体験参加者数・免許状更新講習受講者数および国際バカロレア教員養成プログラムの履修・進捗状況について報告と意見交換を行った。本年度 1 年生の教職関連授業の履修者増などが話題となった。

なお、昨年度までは非常勤講師等を招いた FD 研修会も別に行っていたが、本年度はコロナ禍の状況を鑑み、本研修会の資料等の送付に代えざるをえなかった。

なお、以上の研修会のほかにも、センター連絡会の機会を利用して研究倫理教育・コンプライアンス教育およびシラバス改善について情報共有と懇談を行った。